

お年寄りから医療を受ける権利を奪う 後期高齢者医療制度の廃止を求める署名

衆議院議長 河野 洋平 様
参議院議長 江田 五月 様

請願趣旨

2008年4月から「後期高齢者医療制度」が始まりました。この制度は、75歳以上のお年寄りから医療を受ける権利を奪うものです。まず、75歳以上のすべての方から保険料を徴収し、しかも、月額15000円以上の年金受給者の保険料を有無を言わず年金から天引きします。さらに、1年以上保険料を滞納した方は保険証が取り上げられ、医療費がいったん全額自己負担となります。医療費の支払いに困るお年寄りから必要な医療を取り上げるものです。また、1か月に6000円の限界料金で診療を行う包括制を導入し、超える医療費は医療機関の負担となるため、必要な医療であってもそれを超える医療行為が制限されます。

まさに、75歳以上のお年寄りから必要な医療を奪うものです。「長生きするな 年寄り死ね」というかなどの制度への怒りの声が渦巻いています。また、多くの自治体や医療従事者からも廃止・中止の声が出ています。

財源は、この6年間で330億～400億円が投じられ今も続けられているインド洋での給油活動経費、毎年5兆円が費やされている軍事費、総額1兆円をくだらないミサイル防衛開発費、3兆円を優に超える米軍再編への経費負担などの軍事費削減や大企業や金持ち優遇税制(所得税の最高税率70%→現行40%、法人税率43.3%→現行30%)をやめて累進税率を元に戻すなど、命を守ること優先の税制・予算組み換えで十分に確保できます。

私たちは、お年寄りをはじめ、誰もが安心して必要な医療を受けるために以下のとおり請願します。

請願項目

- 1 後期高齢者医療制度を廃止すること
- 2 後期高齢者医療保険料の年金からの天引きを今すぐ中止すること
- 3 滞納者から保険証のとり上げをしないこと
- 4 国の医療予算を増額し、誰にも必要な医療を保障すること
- 5 財源は、消費税に求めるのではなく、軍事予算を削減し、大企業・金持ち優遇税制をやめ、累進税率を元に戻して、確保すること

お 名 前	ご 住 所

呼びかけ団体 後期高齢者医療制度を廃止させる会

〒142-0043 品川区二葉1-8-6 平和共同事務所内

TEL/FAX 03-3783-3370

取り扱い団体

()